

スポーツ産業国際展開カントリーレポート

スポーツ産業の市場環境等に関する基本情報



インド共和国

Republic of India



都市名	人口 (万人)
ムンバイ	1,244
デリー	1,103
バンガロール	850
ハイデラバード	699
アフマダーバード	563

出所) 国際連合「Demographic Yearbook System」(2020年時点)

目次

スポーツ関連

【市場情報】

- スポーツ産業市場規模推移 2
- 主要コンテンツ市場情報 3
- スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上 4

【スポーツ習慣】

- 現地で盛んな競技 5
- 一人当たりスポーツ支出 6
- 主なスポーツリーグ 7
- 主なスタジアム 8

【業界情報】

- 日本のクラブチームとの連携クラブ概要 9
- 現地主要企業 10,11
- 教育分野におけるスポーツの活用動向 12
- スポーツ産業に係る日本企業の進出状況 13

【展示会、国際競技大会等開催情報】

- 商談会・展示会開催情報 14
- 国際競技大会開催情報 15

【政策動向】

- スポーツ基本計画概要 16
- SDGsへのコミットメント、SDGs×スポーツの取組 17

一般概況

【経済】

- 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成 20
- GDP、GDP成長率、一人当たりGDP 21
- 世帯所得分布 22
- 賃金 23

【健康・医療】

- 医療費支出 24
- 疾病構造・死亡要因 25

【規制】

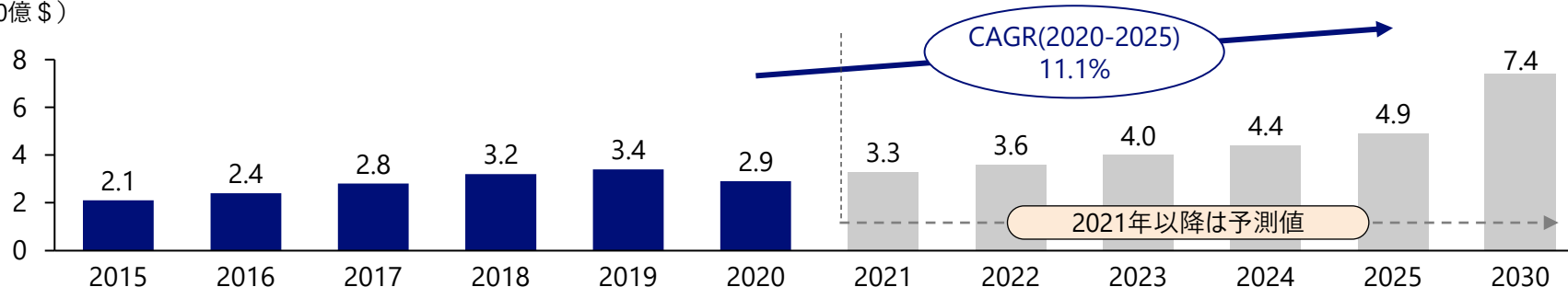
- 外資に関する規制 26

スポーツ産業市場規模推移

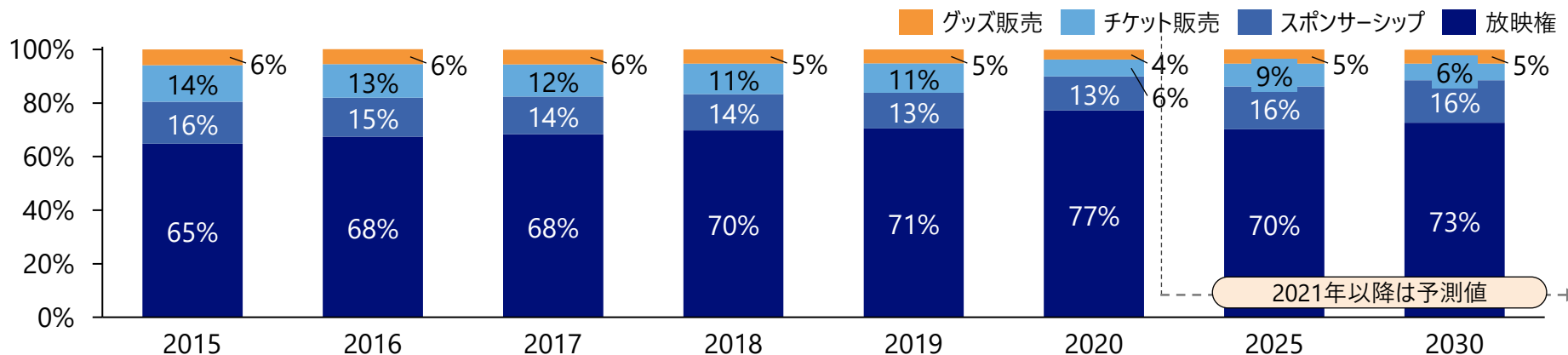
- 2020年のインドにおけるスポーツ産業市場規模は約29億ドル（約3,969億円）で、2030年にかけて年平均成長率11.1%での成長が予測されている。

スポーツ産業市場規模推移

(US10億\$)



コンテンツ別市場規模シェア推移

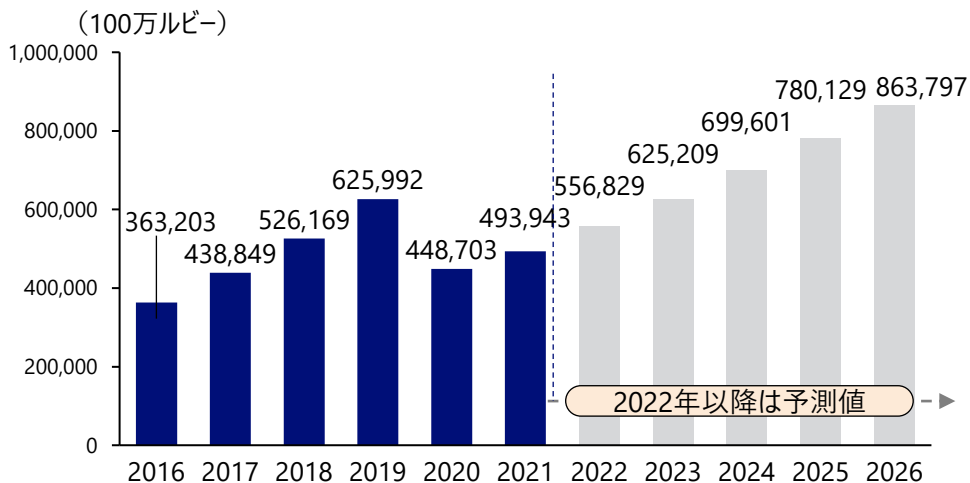


主要コンテンツ市場情報 (スポーツウェア、フィットネス市場)

👕 スポーツウェア市場

- 2021年では、前年比で約10%市場規模が拡大している。
- コロナ禍で広まった利便性に優れるスポーツウェアの着用習慣は、今後も継続し、市場拡大の一因となると予想される。
- アウトドア用スポーツウェアは、コロナ前にはすでに成長の兆しがあり、今後はさらなる成長が見込まれる。
- グローバルブランドを中心に、サステナビリティを重視する動きはインドでも拡大することが予想される。

スポーツウェア市場規模推移



(出所) Euromonitor International PassportよりNRI作成

🧘 フィットネス市場

- インドのフィットネスクラブは2017年時点で3,813ヶ所存在し、アジアでは第3位に位置している。
- 肥満人口が980万人に達する等、生活習慣病の増加がフィットネス市場の拡大の背景となっている。
- 不動産賃料の高騰及び専門知識を持つトレーナーの不足が産業全体の課題となっている。
- ヨガを含む伝統医学関連政策を統括するAYUSH省を2014年に開設するなど、政府は特にヨガ領域の発展に注力している。

アジア各国におけるフィットネスクラブの数および利用状況

国名	フィットネスクラブ数	利用者数
韓国	6,590	3,750
日本	4,950	4,240
インド	3,813	2,010
オーストラリア	3,715	3,730
中国	1,767	4,520
フィリピン	950	530

(出所) Speeda「フィットネスクラブ 業界の動向 -インド市場-」

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

- インドにおけるスポーツ産業の従業者数割合は0.05%。
- スポーツ産業における1事業者当たりの売上は約226万円と、インドネシアやタイ等のアジア諸国と比較しても低い。

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

国	スポーツ産業 従業者数割合（%）	スポーツ産業事業者数	1事業者当たりの売上（ドル）
サウジアラビア	0.30%	25,467	122,437
イギリス	0.26%	72,371	231,733
アメリカ	0.22%	43,441	2,823,163
シンガポール	0.16%	996	1,851,950
韓国	0.13%	24,357	272,094
フランス	0.13%	34,663	276,974
フィリピン	0.12%	7,802	196,463
日本	0.10%	20,164	1,254,952
インドネシア	0.09%	86,631	37,777
中国	0.08%	160,508	342,474
タイ	0.08%	14,659	145,558
ベトナム	0.05%	1,821	450,457
インド	0.05%	173,683	16,521
オーストラリア	0.03%	3,036	1,946,384

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。「スポーツ産業従業者数割合」は全人口に対するスポーツ産業従業者数の割合

現地で盛んな競技

- 国内の人気スポーツとしてクリケット、サッカー、ホッケー、バドミントン、テニス等が挙げられる*。
- 国際大会で好成績を収めているスポーツは、レスリング、陸上競技、ウェイトリフティングである**。

東京2020大会におけるインドの競技別メダル獲得数

オリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
レスリング	2	0	1	1
陸上競技	1	1	0	0
ウェイトリフティング	1	0	1	0
ボクシング	1	0	0	1
ホッケー	1	0	0	1
バドミントン	1	0	0	1

パラリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
陸上競技	8	1	5	2
射撃	5	2	1	2
バドミントン	4	2	1	1
卓球	1	0	1	0
アーチェリー	1	0	0	1

*Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030

** Olympics.com「メダル順位」より

一人当たりスポーツ支出

- インドにおける2020年の一人当たりスポーツ支出は2.1ドルである。

一人当たりスポーツ支出 (国別)

国	一人当たりスポーツ支出 (ドル)
アメリカ	371.6
シンガポール	319.7
イギリス	249.4
オーストラリア	229.7
日本	201.2
フランス	147.7
韓国	128
サウジアラビア	89.7
中国	39.1
タイ	30.6
フィリピン	14.1
インドネシア	12.1
ベトナム	8.4
インド	2.1

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。

主なスポーツリーグ

■ インドには2008年からクリケット、2010年代からサッカー、カバディ、バドミントン、レスリングのプロリーグが活動している。

インドにおける主なスポーツリーグ

リーグ名称	競技	設立年	チーム数	開催時期	観客動員数*	主要チーム**	主要スポンサー***
インドプレミアリーグ (IPL)	クリケット	2008	13	3月～5月	約6億人	<ul style="list-style-type: none"> Chennai Super Kings Mumbai Indians Delhi Capitals Kolkata Knight Riders 	<ul style="list-style-type: none"> Tata, Dream 11 Unacademy Cred Star Sports
プロカバディリーグ (PKL)	カバディ	2014	12	12月～2月	約4億3,500万人	<ul style="list-style-type: none"> Telugu Titans. UP Yoddhas. Puneri Paltan. Patna Pirates. 	<ul style="list-style-type: none"> Vivo Dream 11 Primatch News Ultratech
インドスーパーリーグ (ISL)	サッカー	2014	11	10月～2月	約2億1,600万人	<ul style="list-style-type: none"> Hyderabad FC ATK Mohun Bagan Kerala Blasters Mumbai City FC 	<ul style="list-style-type: none"> Hero 1XBAT Byjus Stake News
プレミアバドミントンリーグ (PBL)	バドミントン	2013	7	12月～1月	約1億5,500万人	<ul style="list-style-type: none"> Awadhe Warriors Bengaluru Raptors Chennai Superstarz Hyderabad Hunters 	<ul style="list-style-type: none"> Vodafone Indian Oil Bajaj Electricals Bisleri
プロレスリングリーグ (PWL)	レスリング	2015	6	5月～6月	約3,100万人	<ul style="list-style-type: none"> NCR Punjab Royals MP Yodha Delhi Sultans Mumbai Maharathi 	<ul style="list-style-type: none"> Dabur Thums Up Jaguar Coke

*直近のシーズンにおける観客動員数

**直近のシーズンにおける順位上位チームを記載

***リーグの主要スポンサー企業を記載

主なスタジアム

インドにおける主なスタジアム

スタジアム名	都市	収容人数	設立年
Yuba Bharati Krirangan	カルカッタ	66,000	1984 (改修：2014)
Jawaharlal Nehru Stadium (Delhi)	ニューデリー	60,000	1982 (改修：2017)
Municipal Corporation Stadium	コージコード	53,000	1977 (改修：2005)
Jawaharlal Nehru Stadium (Kochi)	コチ	41,000	1996
Nehru Stadium	コインバトール	30,000	1971 (改修：2008)

(出所) World Stadiums

日本のクラブチームとの連携クラブ概要

日本のクラブとの協定締結等が確認されるクラブの主要スポンサー、オーナー

リーグ名 (競技)	クラブ名	主要スポンサー企業	オーナー	連携先日本リーグ・クラブ
Iリーグ (サッカー)	Sudeva Deri FC	Liquid, Puma, Fir 101, Stark Nutrition, PassPass Pulse, Le Marche	Anuj Gupta* Vijay Hakari <small>*ANM Global Solicitors and Advocatesの共同設立者</small>	湘南ベルマーレ

現地主要企業 (フィットネス業界)

現地主要企業 (フィットネス業界)

企業名称	カテゴリ	売上* (百万円)	概要
Talwalkars Better Value Fitness Ltd	フィットネス	997	インドを拠点として、フィットネスクラブをチェーン展開
Country Club Hospitality & Holidays Ltd	フィットネス	863	フィットネスクラブ、リゾート施設を展開し、400万人以上の会員を持つ
Snap Fitness (India) Pvt Ltd	フィットネス	-	24時間のフィットネスクラブを展開
Hanman Fit Ltd	フィットネス	-	2013年に設立、フィットネスクラブを展開
Kimaya Wellness Ltd	フィットネス	-	1995年に設立、フィットネスクラブを展開
Active Fitness Aim	フィットネス	-	パーソナルトレーニングサービスを展開
Adesaa Wellness Pvt Ltd	フィットネス	-	ヨガスクールを展開
Altsoul	フィットネス	-	フィットネスクラブを発見・予約するためのサービスを展開
Parnav Sports Academy Ltd	フィットネス	-	青少年に対してスポーツ教室を展開
Bemefit	フィットネス	-	オンラインフィットネスプラットフォームを提供

* Talwalkars Better Value Fitness Ltdは2018年の売上、Country Club Hospitality& Holidays Ltdは2022年の売上
(出所) SPEEDA「フィットネスクラブ業界の動向 -インド市場-」よりNRI作成

現地主要企業 (スポーツ用品)

現地主要企業 (スポーツ用品)

企業名称	カテゴリ	売上* (百万円)	概要
NIKE INDIA PRIVATE LIMITED	スポーツ用品	8,019	スポーツ用品の製造業者
Cosco (India) Ltd	スポーツ用品	2,063	スポーツ用品の製造業者
Adidas India Pvt Ltd	スポーツ用品	-	スポーツ用品のウェア、シューズの製造、販売業者
DECATHLON SPORTS INDIA PRIVATE LIMITED	スポーツ用品	-	54か国に1500以上の店舗を持つ、世界最大のスポーツ用品チェーンストアを運営
Planet Sports Pvt Ltd	スポーツ用品	-	スポーツ用品の小売業者
Planet Sports Retail Pvt Ltd	スポーツ用品	-	スポーツ用品の小売業者
Puma Sports India Pvt Ltd	スポーツ用品	-	スポーツ用品の卸売り業者
Sports Nest Retail India Pvt Ltd	スポーツ用品	-	スポーツ用品のオンライン販売業者

* NIKE INDIA PRIVATE LIMITEDは2021年の売上、** Cosco (India) Ltd は2022年の売上
(出所) SPEEDA よりNRI作成

教育分野におけるスポーツの活用動向

Bharatiya Games

- 教育省のインド知識システム (IKS) 部門は、全国の学校で最初の「バラティヤ ゲーム」を率先して実施している。
- 本実施の一環として、学校は体育教師を連絡窓口として、生徒の年次および月次トレーニング プログラムの開発を監督する。さらに体育の教師は、さまざまな固有のゲームで生徒の学習グラフも監視する。
- この大きな目的は、スポーツのインフラが整っていない田舎に住む学生の包括性を確保することである。
- 第 1 段階では主とされる全国の 1,000 の学校で実施され、徐々にすべての学校に拡大されており、IKS は、インドのスポーツ機関 (SAI) およびさまざまな州レベルのノード スポーツ機関とも協力して実施している、

New Education Policy And Students' Health

- インドの国家教育政策 (NEP) は、学校広育において身体的および心理的な幸福を促進しながら、生徒の認知能力を高めるために、スポーツの統合、または教育実践における身体活動の促進を提案している。
- スポーツを主とした学習は、学生が Fit India 運動で想定されているフィットネス レベルを達成し、フィットネスを生涯の態度として採用するのに役立っている。また、学生のコラボレーション、自己主導性、チームワーク、責任などのスキルも向上させている。
- 政策のポリシーとして、学生がスポーツやガーデニングなどの地元の職業活動やその他の活動に参加できるように、「バグレス」の日も提案している。
- NEP は、学校、学校複合施設、学区などのレベルで、スポーツ、ヨガ、健康と福祉を含むクラブの結成をさらに奨励し、高等教育機関には、スポーツ、芸術、音楽などの学科もあり、学際的で刺激的な環境を提供している。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

- スポーツ用品を幅広く扱うアシックス、バドミントンラケットをメインに販売するヨネックスが進出している。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

現地法人名	日本側の主な出資企業	資本金（ルピー）	出資比率（％）	従業員数	事業内容
Asics India Pvt. Ltd.	アシックス	不明	75.0	不明	スポーツ用品等の販売
Yonex India Pvt. Ltd.	ヨネックス	5億4,000万	99.7	15	バドミントンラケットの販売

（出所）東洋経済新報社『海外進出企業総覧（国別編）』（2021年）よりNRI作成

商談会・展示会開催情報

- インドでは、健康産業、スポーツ産業に関するBtoBの展示会であるIHFFが毎年開催される。

インドで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
IHFF (INTERNATIONAL HEALTH, SPORTS& FITNESS FESTIVAL)	年により 異なる	ABEC (Asian Business Exhibitions & Conferences Ltd.)	毎年	スポーツ、フィットネス、健康
SATTE 2023 – South Asia's Travel Show	グレート・ ノイダ	Informa Markets	毎年	ゴルフコース&リゾート、 スパ・ウェルネスセンター、 スポーツ製品、旅行用具製品
IISGS - SPORT INDIA	ニューデリー	IES - Indian Exhibition Services	毎年	スポーツ用品、アクセサリ、 スポーツファッション

（出所）JETRO「世界の見本市・展示会情報（J-messe）」、EventsEye “Sports Trade shows 2023 -2024” よりNRI作成

国際競技大会開催情報

- 2023年には、ホッケー、クリケット、バドミントンの国際大会がインドで行われる。

インドで開催予定の国際競技大会

大会名	開催期間	主催者	参加国数	参加選手数	摘要
Hockey World Cup	2023年1月13日～ 2023年1月29日	国際ホッケー連盟	24	432	4年毎の開催
ICC World Cup of Cricket	2023年2月9日～ 2023年3月26日	国際クリケット評議会	10	－	4年毎の開催
BWF Sudirman Cup	2023年	世界バドミントン連盟	16	140	2年毎の開催

（出所）スポーツ庁「国際交流状況等調査」、Topend Sports「Calendar of Major Sporting Events for the upcoming years」よりNRI作成

スポーツ基本計画概要

- ナarendra・モディ首相の下で制定され、インドのスポーツ文化の発展を草の根レベルから実現するための取り組みが盛り込まれている。

インドにおけるスポーツ基本計画概要

計画名称	KHELO INDIA – NATIONAL PROGRAMME FOR DEVELOPMENT OF SPORTS
策定年	2017年
計画概要	スポーツ文化の定着・発展を支援することで、若い人々の育成・活躍を促し、インドが世界におけるスポーツ大国に成長することを目指した計画である。
主要目標・施策	以下12領域に関する取り組みが記載されている。 <ul style="list-style-type: none">• 運動場の拡張• スポーツコミュニティにおけるコーチング人材の育成• Khelo Indiaセンターの利活用• スポーツ競技大会の開催• スポーツ人材の発掘と育成• スポーツインフラの整備• 国・地域・州のスポーツアカデミーの支援• 学校教育における運動の浸透• 平和のためのスポーツ活用• 障がい者スポーツの発展• 伝統競技の振興
主要KPI	目標数値は特になし

SDGsへのコミットメント・取組

政府によるSDGsに関する取組

- SDGsの達成度合いを示すランキングでは、**世界112位**。
- 達成度合いが高い項目は「持続可能な消費と生産」、「気候変動への対処」である。
- 特に課題が残る項目は「飢餓撲滅、食料安全保障」、「健康・福祉」、「ジェンダー平等」、「水・衛生の利用可能性」、「強靱なインフラ、工業化・イノベーション」、「持続可能な都市」、「海洋と海洋資源の保全・持続可能な利用」、「陸域生態系、森林管理、砂漠化への対処、生物多様性」、「平和で包摂的な社会の促進」である。

SDGs17ゴールの達成状況



- (Green) : SDGsを達成している
- (Yellow) : 課題が残る
- (Orange) : 重要課題が残る
- (Red) : 主要課題が残る
- (Grey) : 情報入手不可
- ↑ (Green) : SDGs達成の見込み、または達成している
- ↗ (Yellow) : 穏やかに改善
- (Orange) : 停滞
- ↓ (Red) : 悪化
- (Grey) : 傾向把握不可

「女性の活躍推進」に関する取組

政府による「ジェンダー平等」に関する取組

- Sustainable Development Report 2023によると、「ジェンダー平等」の項目は、主要な課題が残っている状況である。
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、すべての項目が未達成である。
 - 近代的手法によって、家族計画についての自らの要望が満たされている出産可能年齢（15～49歳）にある女性の割合
 - 教育を受けた平均年数の男女比
 - 労働力率の男女比
 - 女性議員の議席数

「女性の活躍推進」×スポーツの事例

- 「Ramagya Sports Academy」
 - インドトップクラスのスポーツアカデミー「Ramagya Sports Academy」は、スポーツにおける男女の平等な参加を促進するため、35以上の幅広いプログラムを通して女性が心身の健康を維持することを推奨し、女性アスリート支援を行っている。
 - 具体的には、女性アスリートが世界クラス的环境中で練習できるように、トレーニング施設や専門のコーチによる指導を提供することに加え、女性のエンパワーメント・イニシアチブ及び奨学金を通じた支援を行っている。

「包摂的で持続可能な経済成長、雇用」に関する取組

政府による「包摂的で持続可能な経済成長、雇用」に関する取組

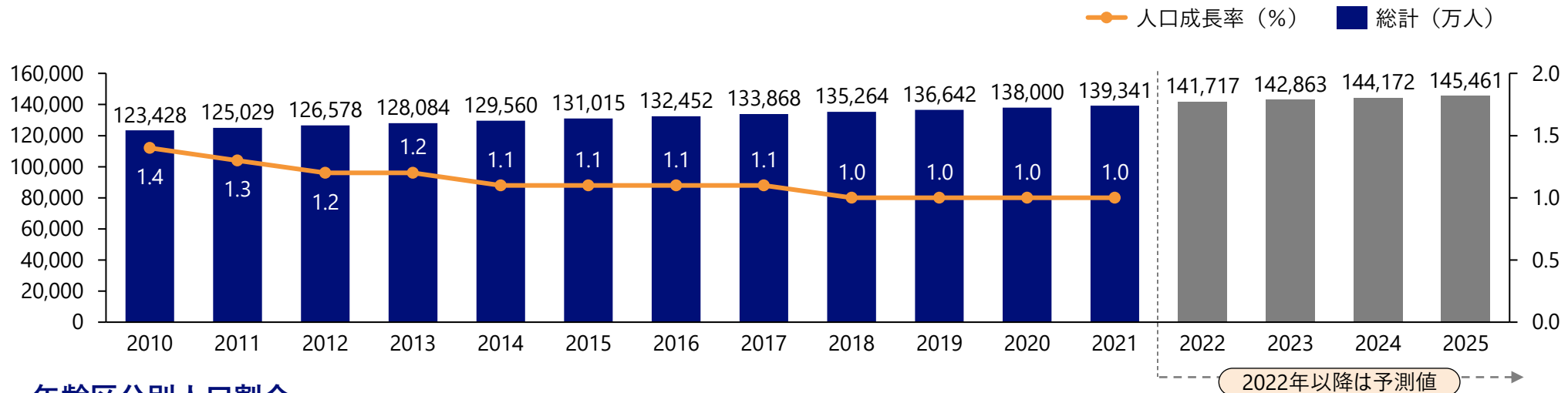
- Sustainable Development Report 2023によると、「包摂的で持続可能な経済成長、雇用」の項目は、重要な課題が残っている状況である。
- 「包摂的で持続可能な経済成長、雇用」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - 輸入に占める労働災害の割合
 - 輸入に伴う現代的奴隷制の犠牲者
- 「包摂的で持続可能な経済成長、雇用」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 調整後GDP成長率
 - 現代奴隷制の犠牲者
 - 銀行等の金融機関、またはモバイル・マネー・サービス・プロバイダーに口座を持つ成人
 - 失業率
 - 労働基本権の実効的保障

「包摂的で持続可能な経済成長、雇用」×スポーツの事例

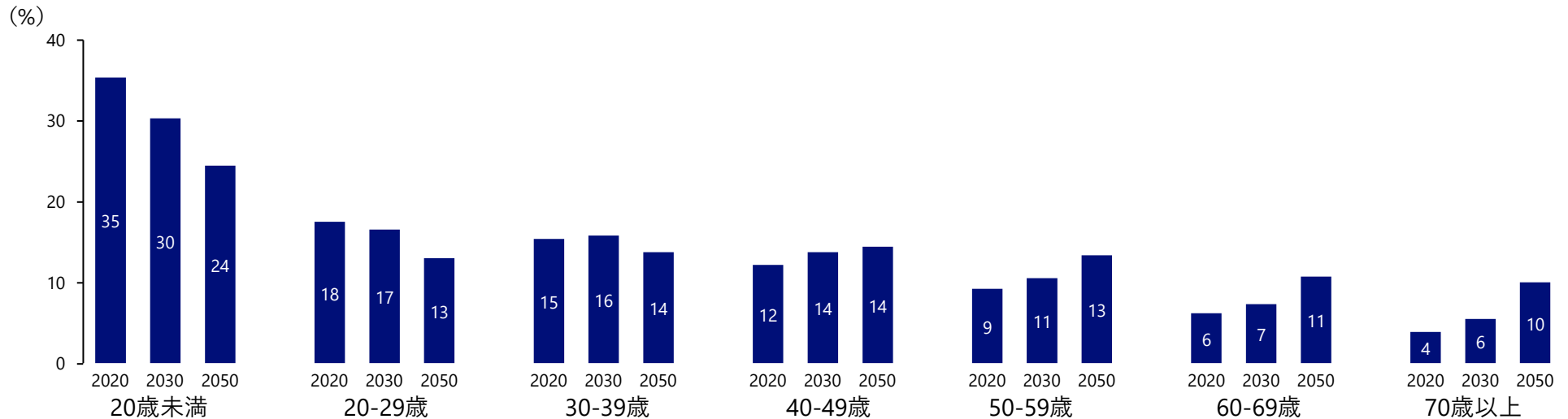
- インド政府によるスポーツ・インフラ・プロジェクト
 - 政府は、大規模なスポーツ・インフラ・プロジェクトを実施し、官民パートナーシップ(PPP)モデルを通じて投資を模索・奨励することにより、インドを健康、教育、観光に長期的な影響を与える世界的スポーツ大国にすることを目指している。
 - 例えば、ハリヤナ州では、若者向けのスポーツ大会「Khelo India Youth Games2022」に1800万ドル以上を投資している。
 - 上記プロジェクトの結果として、以下のような事例が生み出されている。
 - インド・クリケット管理委員会 (BCCI) は、インド・プレミアリーグの5シーズンの放映権から62億ドル以上を確保し、米国のNFLに次いで世界的に2番目に価値の高いリーグとなった。
 - オリッサ州では、FIFA U-17女子ワールドカップや男子ホッケー・ワールドカップ等の主要イベントが開催された。

人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

人口動態、および人口成長率



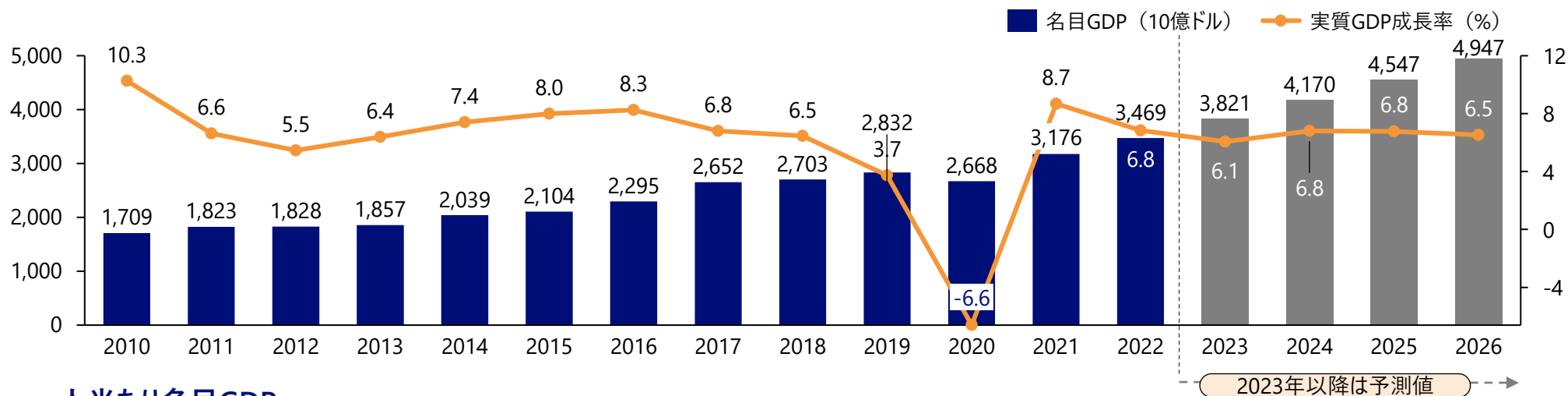
年齢区分別人口割合



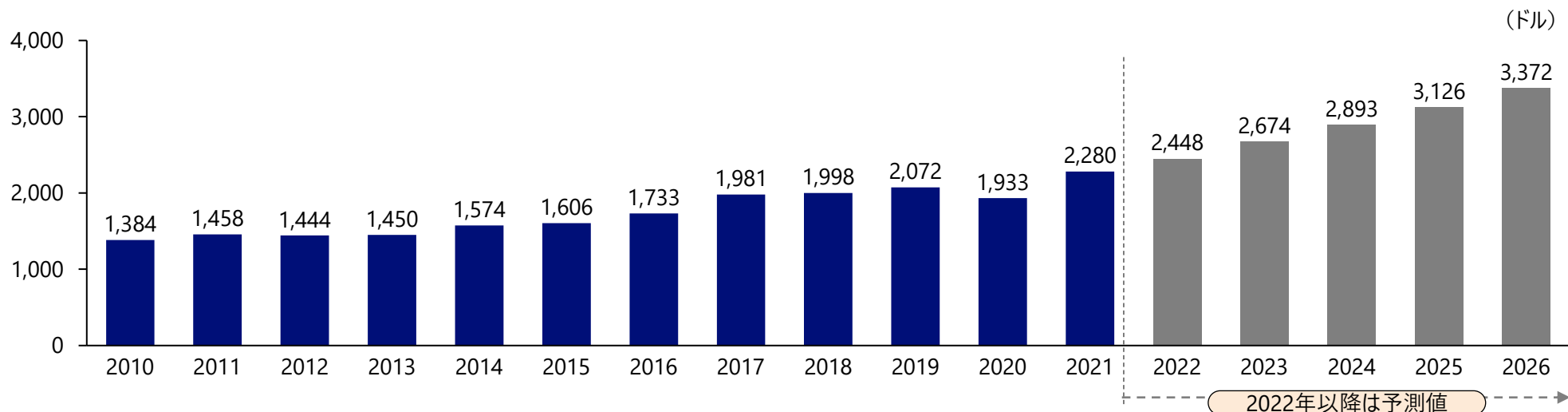
(出所) 世界銀行「World Development Indicators」、国際連合「World Population Prospects」

GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

名目GDPおよび実質GDP成長率



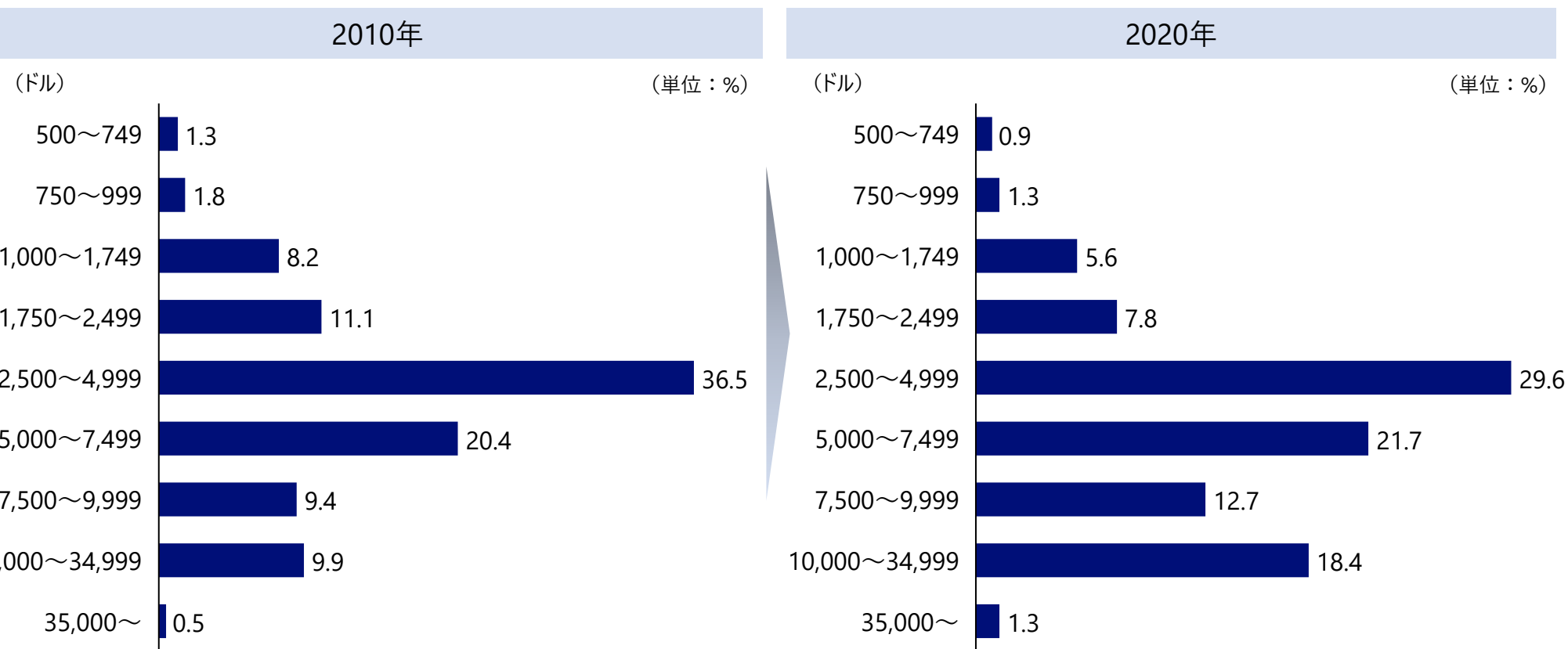
一人当たり名目GDP



世帯所得分布

■ 2010年には39.7%程度であった中間所得層（世帯所得5,000～34,999ドル）が、2020年には52.8%まで増加。

世帯所得分布



(出所) ユーロモニター

賃金

- インドの製造業に従事する作業員の年間実負担額は、4,208ドル（日本円で約58万円）。
- アジア内ではフィリピン、ベトナムに近い賃金水準である。2020-2021年度の前年比昇給率は高い。

インドの製造業と非製造業における賃金と前年比昇給率

		基本給・月給 (単位：米ドル)	年間実負担額 (単位：米ドル)	前年比昇給率(%) (2019→2020)	前年比昇給率(%) (2020→2021)
製造業	作業員	265	4,208	5.0	7.2
	エンジニア	537	8,215		
	マネージャー	1,373	19,737		
非製造業	スタッフ	603	8,777	6.1	6.9
	マネージャー	1,617	23,761		

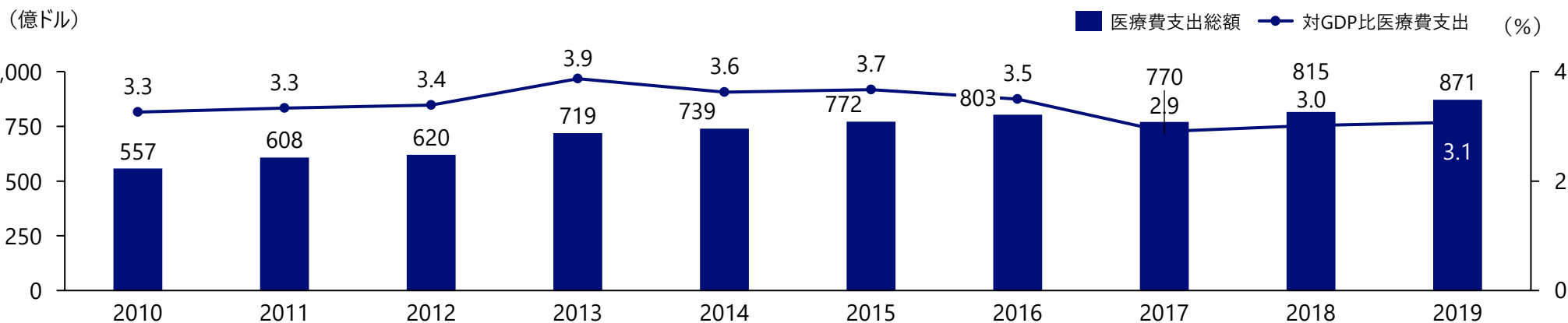
- 基本給：諸手当を除いた給与、2020年8月時点。
 - 年間実負担額：一人あたり社員に対する負担総額(基本給、諸手当、社会保障、残業、賞与などの年間合計。退職金は除く。2020年(度)時点。)
 - 作業員：正規雇用の一般工職で実務経験3年程度の場合。ただし請負労働者および試用期間中の作業員は除く。
 - エンジニア：正規雇用の中堅技術者で専門学校もしくは大卒以上、かつ実務経験5年程度の場合。
 - マネージャー（製造業）：正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
 - スタッフ：正規雇用の一般職で実務経験3年程度の場合。ただし派遣社員および試用期間中の社員は除く。
 - マネージャー（非製造業）：正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
- ※各職種の自国・地域通貨建て賃金の平均値を、2020年8月の平均為替レート(各国・地域中央銀行発表)で米ドルに換算。

医療費支出

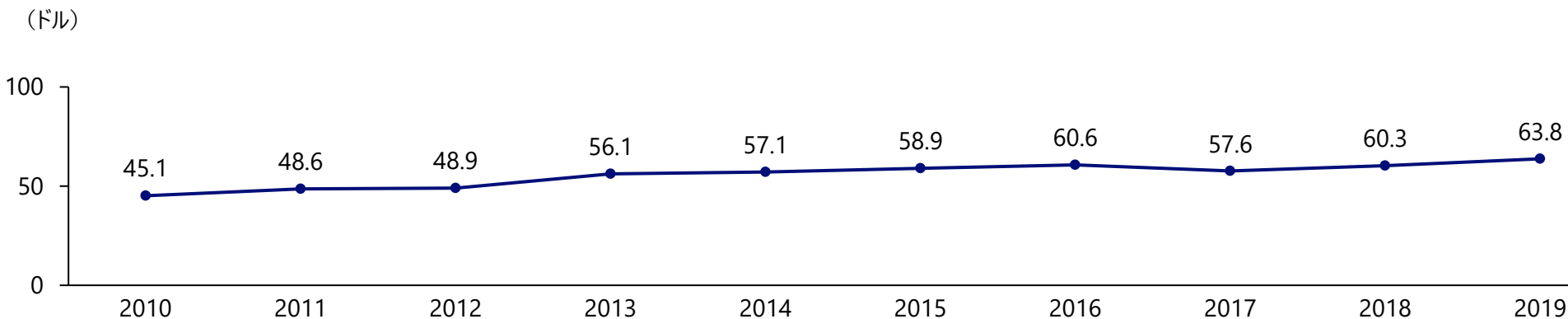
■ 2019年の医療費支出は870億ドル（約12兆円）で、対GDP比で3.1%。

■ 2019年の一人あたり医療費は63.8ドル（約8,700円）。

医療費支出総額と対GDP比医療費支出



一人あたり医療費支出



(出所) 世界保健機関 (WHO) 「Global Health Expenditure Database」

疾病構造・死亡要因

■ 主要疾患（死亡要因）の内訳としては、虚血性心疾患が16%と最も多く、慢性閉塞性肺疾患、脳卒中が多い。

疾病構造（死亡要因）の内訳（2019年）

順位	疾病名	割合	順位	疾病名	割合
1	Ischemic heart disease（虚血性心疾患）	16.17%	11	Chronic kidney disease（慢性腎臓病）	2.37%
2	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	9.57%	12	Road Injuries（交通外傷）	2.26%
3	Stroke（脳卒中）	7.44%	13	Asthma（喘息）	2.12%
4	Diarrheal diseases（下痢性疾患）	6.73%	14	Self-harm（自傷）	2.08%
5	Neonatal disorders（新生児障害）	4.67%	15	Alzheimer's disease（アルツハイマー病）	1.38%
6	Lower respiratory infect （下呼吸器感染症）	4.62%	16	Rheumatic heart disease（リウマチ性心疾患）	1.37%
7	Tuberculosis（結核）	4.50%	17	Hypertensive heart disease （高血圧性心疾患）	1.17%
8	Diabetes（糖尿病）	2.91%	18	Lung cancer（肺がん）	0.95%
9	Cirrhosis（肝硬変）	2.87%	19	Breast cancer（乳がん）	0.89%
10	Falls（転倒）	2.49%	20	Stomach cancer（胃がん）	0.87%

運動習慣が発症・進行に関与するとされる疾患群（出所：厚生労働省「健康寿命を延ばそう SMART LIFE PROJECT」）

（出所）保健指標評価研究所（IHME）「Global Burden of Disease Study: GBD」

外資に関する規制

カテゴリ	概要
規制業種・ 禁止業種	<ul style="list-style-type: none"> 外国投資が禁止されている業種(一部、2020年統合版FDI政策に基づく)： 宝くじ、賭博、カジノ(賭博場)、チット・ファンド(賭博事業)、ニディ会社(互助金融会社)、譲渡可能開発権、不動産業または農家の建設、タバコまたはその代替品から生成された葉巻、チェルト、たばこ、およびシガレットの製造、原子力および鉄道事業(認められている業務以外) 出資比率の上限規制が存在する業種(一部、2020年統合版FDI政策に基づく)： 銀行業、信用情報会社、保険業、民間航空業、空港、通信サービス業、石油(精製以外)、石油精製および天然ガス、住宅・不動産業、石炭・褐炭、商業、電子商取引分野、防衛機器産業、農業、畜産業、プランテーションセクター
出資比率	<ul style="list-style-type: none"> 外国直接投資はネガティブ・リストや禁止リストに該当しなければ、出資比率100%までの直接投資が自動認可される。
外国企業の 土地所有の可否	<ul style="list-style-type: none"> 外国企業のインド法人、支店およびプロジェクト・オフィスによる不動産の購入は可能。駐在員事務所については不可。
資本金に関する 規制	<ul style="list-style-type: none"> 最低資本金規制：会社形態による最低資本金規制はないが、企業省は最低資本の金額を規定できる。(会社改正法2015) 現物出資に関する規制：機械、設備などの輸入資本財、海外投資家による会社の設立準備ならびに登記にかかる前払い費用(家賃を含む)を資本金に繰入れることができる(2020年統合版FDI政策)
その他規制	<ul style="list-style-type: none"> インドの外国投資認可制度には、「自動認可制」と「個別認可制」の2種類がある。 <ol style="list-style-type: none"> 自動認可制(自動認可ルート) インドへの外国投資を行うための当局からの事前承認を必要とせず、自動的に投資が認可される。 個別認可制(政府認可ルート) 一部業種への投資案件の場合、商工省産業国内取引促進局(DPIIT)から個別認可を取得する必要がある促進局(DPIIT)から個別認可を取得する必要がある。